

福島大学共生システム理工学類産業システム工学専攻 研究交流会

－ 高大接続の観点からの県内数理教育の現状と展望 －

下記の通り、「福島大学共生システム理工学類産業システム工学専攻研究交流会
－ 高大接続の観点からの県内数理教育の現状と展望」を催しますので、ご案内申し
上げます。

世話人 石渡 通徳 (福島大学共生システム理工学類)

記

日時 : 2013年3月2日(土) 13:25~17:45
場所 : コラッセ福島 403 会議室 (JR 福島駅西口徒歩 3 分)
<http://www.corasse.com/category/access>

プログラム

3月2日(土)

- | | |
|-------------|--|
| 13:25~13:30 | 主催者挨拶 |
| 13:30~14:10 | 笠井 博則 (福島大学共生システム理工学類)
福島大学共生システム理工学類の数学初年度教育の現状 |
| 14:20~15:00 | 中澤 春雄 (福島県立会津高等学校)
福島の高校数学の振興に向けて～学びの意欲を高める高大接続
の期待～ |
| 15:10~15:50 | 遠藤 直哉 (福島県立福島高等学校)
キャリア教育の実践報告 |
| 16:05~16:45 | 野田 工 (日本大学工学部)
大学初年次における数学基礎教育の実践例 |
| 16:55~17:45 | 長岡 亮介 (明治大学理工学部)
「数学教育問題」を《科学》と《技術》の立場から《構造的》に
考える |

講演概要

- 笠井博則（福島大学共生システム理工学類）

『福島大学共生システム理工学類の数学初年度教育の現状』

共生システム理工学類の数学初年度教育の概要と理工学類設立以降行っている、入学直後に行う試験についてお話しします。
- 中澤春雄（福島県立会津高等学校教諭）

『福島の高校数学の振興に向けて～学びの意欲を高める高大接続の期待～』

今年度から3年間、福島高校が「コアSSH」の指定を受け、会津高校が数学の拠点校としてセミナー等の企画を担当することになった。福島県の高校数学の現状と今年度のコアSSHにおける数学の取り組みについて高大接続の観点から報告する。
- 遠藤直哉（福島県立福島高等学校教諭）

『キャリア教育の実践報告』

「自分は社会にどのように貢献したいのか」「人生をどう生きるのか」を考えさせ、自己発見の中で学びを捉えさせることで、高校生は貪欲に学び始める。その一例として、福島高校で進めている「高校生による福島復興プロジェクト」等に参加した生徒の変容を報告する。
- 野田工（日本大学工学部准教授）

『大学初年次における数学基礎教育の実践例』

大学新生に対しては、入学前教育から入学後の学習サポートや基礎科目の補助授業など、各大学で様々な取り組みが行われている。本講演では、日本大学工学部における数学基礎教育に関する制度の紹介と現状・課題などを報告する。
- 長岡亮介（明治大学理工学部数学科特任教授）

『「数学教育問題」を《科学》と《技術》の立場から《構造的》に考える』

大学における数学教育の問題は、その深刻さが喧伝されている割には、それを克服するための長期戦略と総合的な力を欠いたまま、個人的なレベルでの戦術的努力が真剣になされているにすぎないのではないのでしょうか。「空回り」の自己満足を乗り越え、次世代育成の使命と学理的浪漫の達成を厳しく見つめる数学教育の可能性を具体的に探らなければならないでしょう。そのための第一歩は冷徹な現状認識と自己変革への勇気であると考えます。「戦後数学教育」の現状をもたらした大学における数学教育の責任と今後の改革の道を見つめる視座の一つを提案したいと目論んでおります。